



第2回推進委員会が開催されました

12月8日(金)に第2回推進委員会が予定されておりましたが、市内ではインフルエンザが流行し、それぞれの部会で日程を調整して実施しました。「教育課程部会」「学力向上部会」「生徒指導部会」では、本年度の成果と課題を確認し、来年度の方向性について協議しました。

また、1月17日(水)には、教育課程部会が窓口となり、小中学校ICT担当と小学校高学年担当によるICT検討会議が開催されました。学年に応じた達成目標について協議しました。

簡単ではありますが、各部会の話し合いの概要について紹介いたします。

教育課程部会

◎英語については、小中接続の年間指導計画は完成している。教科書の移行期に合わせて令和7年度を目標に算数数学の年計を作成していく。

◎6年生の余剰時数で中学校につながる学習(中1漢字の先取り)ができるか調整していく。漢字の一覧があれば、自主学習で進められる。読み方、書き順、使い方などを自分で調べて習得する学習は小学校漢字の復習にもつながる可能性がある。国語科担当教員とも相談しながら、実施可能か協議していく。

◎総合的な学習の時間については、探究的な活動になるよう今後見直しを図っていく。小樽市のプランを基にしながら、3年間を目安に内容を整理していく。徐々に中学校の総合的な学習の時間につながるように検討を進めていく。「国際理解」と「いのちの学習」の2本立てなら、幅広く小中で連携していけるのではないかと。養護教諭と連携した「いのちの学習」、栄養教諭による食育なども心身の健康という観点で「いのちの学習」に含めて、総合的な学習の時間を充実していくことは可能ではないかと。

◎2月15日に実施予定の6年生の体験授業は、中学校生活の説明と音楽で実施していく。

◎合同避難訓練については、今年度の反省を生かし、次年度は、中学生が小学生を連れて逃げる形で実施するよう、指導グループに計画を立ててもらう。

◎中学生による読み聞かせは、とても良かった。年に数回行うのであれば、早めに日程を調整していく必要がある。

◎デジタルドリルについては、中学校はお試しで「ミライシード」を来年度活用していく。小学校は、各社お試し期間が終了し、来年度は有料化になる。将来的に、小中同じドリルを活用していけるとよい。



◎ICTについては、中学校の達成目標が大体できたので、来年度1年間取り組みながら修正していく。達成のためにやるべきことや課題を先に作ると、目標を作成しやすいので、可能なら、小中検討会議を月1回程度実施していく。1月中に、高プロのICTスキル会議をしたい。(1月



17日に実施。今後、中学年担当を交え、中ブロのICTスキル会議を実施予定。)

学力向上部会

- ◎各教科での連携については、授業づくりやICTの活用状況について交流できた。小学校でおさえたいスキル習得や使い方のルールの確認などを進めていく。(教育課程部会との連携を図る。)
- ◎小中交流授業参観については、時間の調整をしながら実施し、現状の実態把握に努めることができた。今後も参観交流は継続していく。授業中だけでなく、休み時間の様子も見ながら実状を見取っていききたい。(生徒指導部会との連携を図る。)
- ◎保護者啓発の共通指導(家庭学習強化期間の実施)について、小学校では学年に応じた宿題や自学の取組をしている。中学校は定期テストや学力テストの2週間前から「計画表」を作成して、計画的に復習を進めている。保護者への発信も行いながら、子どもたち自身が進んで取り組んでいくように指導を続けてきた。今後も学年に応じた家庭学習の積み重ねを継続し、確かな学力定着を目指していく。
- ◎今年度も、公開研究会の相互参加を実施することができた。それぞれの研究の一端に触れることで、児童・生徒をどのように育てていきたいかを交流することができた。次年度以降は、学校祭と重ならないように日程を調整していく。
- ◎学習規律については、中学校で実施している「2分前着席」を参考に、小学校では、6年生のチャイム前着席(1分前着席)を意識させることができた。今後は、低・中学年は、担任の声かけで素早く着席できるように、高学年は、「1分前着席」を意識して行動できるように促していく。

生徒指導部会

- ◎校内クリーン作戦については、6月中、月曜日の放課後に小学校運営代表委員と中学校生徒会が共同で実施する。(小学校は児童会の時間に、中学校は放課後活動として) 今後は、人数を増やしていく方向で検討していく。
- ◎chromebookの使用法については、高学年と中学校で共有していく。保管庫から出して机の中に入れておくのか、机の横にかけておくのか等の管理や使用法について(使用する時間、動画の視聴、検索、作業等)、小中連携しながら、統一していく方向で協議していく。
- ◎潮まつりの練り込みについては、地域やPTAが中心となって実施しているが、児童会や生徒会が中心となり、ポスターや団扇の作成など活動を充実させていくのは可能ではないか。
- ◎小中合同避難訓練については、来年度は地震の二次避難を想定して、花園グラウンドまで避難する方向で検討していく。避難経路については、通常の道路(公園の遊歩道は通らない)を使用し、小学校グラウンドから市民会館脇を通り、花園グラウンドまで避難する方向で検討していく。
- ◎参観日や休み時間の様子などの参観交流については、来年度は、1回目の推進委員会で、1年間の参観交流の日程を確認する。6~7月に授業や休み時間の様子を交流する機会を設定し、8月の合同研修会で話し合う。また、12月の推進委員会までに、休み時間の様子を参観し、成果と課題について話し合い、次年度につなげていく。



各部会ともに、今年度の成果と課題について確認し、今後の取組についても確認することができました。お忙しい中、時間を調整して推進委員会を実施していただき、本当にありがとうございました。